

科目名	資料解釈講義基礎(資料解釈)						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	賀来 美和		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員採用試験で出題されやすい単元を、演習プリントや麻生オリジナルテキストを使用して単元ごとで学習する。また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。複雑な資料から正答を見抜くための計算方法やキーワードを習得し、実戦的な解法を身につけることに主眼をおく。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各資料の基本的な読み解き方を身につけ、例題や基本問題を解くことができる。	
		○				過去問の演習を通し、実際に出題されるレベルの問題を解けるようになる。	
			○			演習試験への取組みにより、受験に向き合う姿勢を培い、その意欲を高める。	
テキスト・教材 参考図書	・『絶対合格シリーズ【数的推理・資料解釈】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) ・補助プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 導入①(1~2) 図表の見方、割合の計算			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	2	第1章 導入②(3~4) 割合の計算、増減率の考え方			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	3	第1章 導入③(5) 分数の大小比較			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
	4	第2章 実数と構成比①(導入、No.1~3)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	5	第2章 実数と構成比②(No.4~6)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	6	第3章 指数と構成比①(導入、No.1~3)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	7	第3章 指数と構成比②(No.4~6)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	8	第4章 増減率①(導入、No.1~2)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	9	第4章 増減率②(No.3~5)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	10	第5章 その他の資料(No.1~4)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	11	第6章 問題演習①(No.1~3)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	12	第6章 問題演習②(No.4~6)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	13	第6章 問題演習③(No.7~9)			授業範囲についてテキストの問題を反復練習する。		
	14	総復習①(プリント演習)			配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。		
15	総復習②(プリント演習)			配布されるオリジナル演習プリントの問題を解く。			
評価方法	定期試験と演習試験を実施する。演習試験は、その受験状況を考慮して評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがある。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	演習試験	◎	◎				40%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						

科目名	公務員リテラシー基礎Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	山本剛/田中純一/福田一総/賀来美和/ 山端亜弥/本多利幸/長友裕幸/武内淳		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	中島賢一(県職員・市職員として勤務後、現・公益財団法人フェロー)		
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員になるにあたって必要な知識と教養を身につけるとともに、社会問題や課題について考え、分析し、行動する力をつける。また、学外講師よりこれからの公務員に求められる資質を学び、公務員に対しての自己の気づきを醸成する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		世の中の事象に対し、深く注意を払い、考察し、自分自身の考えを述べるようになる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		1. ガイダンス 2時間					
		2. 講演 2時間					
		3. 課題発見及び分析・討議・研究 5時間					
		4. 調査内容整理・発表準備 4時間					
		5. 研究内容動画作成 2時間					
評価方法	発表による評価を行う。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の評価方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表	○	○		◎		100%
履修上の注意	社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。						